

「新聞を読もう」(5年国語)の実践

1、きっかけ

10月の定例会で、成増ヶ丘小の羽賀先生から「新聞記事を読み比べよう」の実践報告があり、本校でも実践してみたいという思いから、同じワークシートを使って授業をさせていただきました。

2、単元の流れ

都合上、2時間構成で単元の学習を行いました。

	学習内容
1時間目	新聞の一面の構成について確認する。
2時間目	二つの記事の違いやその理由を考え話し合う。
課外 (家庭学習等)	新聞の中から自分が興味をもったニュースを一つ選び、そのニュースについて複数の記事を読み比べて、思ったことや考えたことをノートに記す。その後、記したことを紹介し合う。

3、学習の様子(1時間目)

◎新聞記事の構成と写真の役割を知ろう

The diagram labels the following parts of a newspaper article:

- 見出し (Headline):** 記事の題に当たる。内容を短い言葉で表してひと目で分かるように。
- リード文 (Lead):** 記事の内容を短くまとめたもの。長い記事の場合に本文の前に付けられる。
- 写真, 図表 (Photos, Charts):** 記事の内容をより分かりやすく伝えるために添えられている。
- 本文 (Main Text):** 出来事のくわしい内容。解説がかわることもある。

The sample article is titled "一万円の「顔」渋沢栄一に" (10,000 Yen Banknote with the face of Inaba Eichi) and includes images of 10,000, 5,000, and 1,000 yen banknotes. A vertical label on the right side of the article reads "20年ぶり新紙幣 きょう発行" (New banknotes issued today after 20 years).

羽賀先生もおっしゃっていましたが、児童にとって身近な記事を教材としたことで、意欲的に学習する姿が見られました。

また、情報として新紙幣について知っていることも多く、記事の内容を容易に理解する児童が多かったことも、新聞の一面の構成を理解する上で助けとなりました。

## 4、学習の様子(2時間目)

# 日本躍進 パラ閉幕

【パリ】読取取材団「第17回夏季パラリンピック・パリ大会は8日(日本時間9日未明)、パリ郊外サンドニのフランス競技場で閉会式が行われ、12日間の日程を終了した。今大会の日本は前回東京大会の13個を上回る14個の金メダルを獲得。銀10個、銅17個と合わせてメダルは計41個で、総数は過去最多だった04年アテネ大会の51個と前回東京大会の51個には届かなかった。



パラリンピックの閉会式に臨む日本選手団(8日、サンドニで)＝須藤栄々子撮影

大会には、168か国・地域と難民選手団が参加。ロシアへの優勝を続けるロシアと同盟国ベラルーシの選手は、国を代表しない「個人の中立選手(NPA)」として出場した。国際パラリンピック委員会(IPC)のアンドルー・パーソンズ会長は閉会式で、「パリ大会は今後のすべてのパラリンピックの基準となった」と宣誓した。

最終日の競技では、陸上男子マラソン(車いす)の鈴木朋樹(30)＝トヨタ自動車(車いす)＝、女子マラソン(視覚障害者T12)の遠藤美里(47)＝三井住友海上＝が、いずれも銅メダルを獲得した。

メダル	個数
金	14
銀	10
銅	17
合計	41

東京超え「金」14個

1 14版 2024年(令和6年)9月10日(火)

パリ・パラリンピックの閉会式に参加するため、スタジアムに入る日本選手団＝フランス競技場で8日、玉城達郎撮影

# 社会の壁破る



第17回夏季パラリンピック・パリ大会は8日夜(日本時間9日未明)、12日間の日程を終え閉幕した。168の国と地域に難民選手団を合わせ、約4400人の選手が参加した。多様性の祭典が担う「共生社会の実現」の理念に加え、今大会ではオリンピックと同じ「ジェンダー平等」が掲げられ、出場選手の45%が女性となった。

(スポーツ面、社会面に関連記事)

閉会式は午後8時半からパリ郊外サンドニのフランス競技場であり、雨の中、各国旗手の行進があった。

国際パラリンピック委員会のアンドルー・パーソンズ会長は「私たちは、スポーツを超えて社会にある壁を打ち破るべきだ。競技場の外でも、障害者が教育を受けて働き、エンターテインメントや市民社会のあらゆる場所で活躍できるようにするために」と述べた。

ランタンで持ち込まれた聖火と、パリ中心部のチュイルリー公園に浮かんだ聖火台の火が静かに消され、花火が打ち上げられた。「多様性の祭典」の夏季大会は五輪とともに2028年の開催地・米ロサンゼルスに引き継がれた。

日本からは、海外開催では最多の175人(男子100人、女子75人)が参加。閉会式では、いずれも金メダリストの木村敬一(競泳)、和田なつき(卓球)が旗手を務めた。

日本勢が獲得したメダルは金14、銀10、銅17の計41個。金メダル数は東京大会(13個)を上回ったが、総数は前回の51個から減った。大会終盤の7日には車いすテニス男子シングルス決勝で、小田凱人(18)＝東海理化一が金メダルに輝いた。8日も陸上の男子マラソン(車いすT54)の鈴木朋樹(30)＝トヨタ自動車、女子マラソン(視覚障害者T12)で連覇を狙った道下美里(47)＝三井住友海上＝が、いずれも銅メダルを獲得した。【パリ春増翔太、川村咲月】

## パリ・パラリンピック閉幕

【読売新聞(2024,9,10 朝刊)】

【毎日新聞(2024,9,10 朝刊)】

読売新聞	毎日新聞
<ul style="list-style-type: none"> <li>・たて書き。リード文なし?</li> <li>・メダルの獲得数が強調されている。</li> <li>・戦争をしているロシアとウクライナの選手について書かれている。</li> <li>・最終日の様子が書かれている。</li> <li>・写真の画角がせまい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横書き。リード文あり。</li> <li>・「共生社会」や「ジェンダー平等」などが書かれている。</li> <li>・パラ会長の言葉が書かれていて、「社会の壁を打ち破る」と見出しと同じ言葉が出てきている。</li> <li>・メダルの獲得数のことが書かれている。</li> <li>・最終日の様子が書かれている。</li> <li>・写真の画角が広い。</li> </ul>
<p>二つの記事が違う理由(書き手の意図)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本がメダルをたくさん獲ったことを伝えたい。</li> <li>・選手の活躍に注目してほしい。(日本のレベル高)</li> <li>・メダルの獲得数が一番目を引きやすいから?</li> <li>・見ている人は「NPA」について知らない人も多いだろうから説明を入れている。</li> <li>・画角をせまくすることで、出場者の活躍に目を向けさせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の出場者が多くなったことで、男女平等の社会に近づけたことを知ってほしい。</li> <li>・障害のある人が活躍する姿を通して、社会にある壁を破ることができたと伝えたい。</li> <li>※「社会の壁」については補足しました。</li> <li>・画角を広くしたことで周りの関係者が写り込み、その真ん中を通して「壁」を破っている印象を与えられる。</li> </ul>

## 5、児童の感想

- ・今まで新聞は同じようなことを書いていると思っていたけれど、新聞社によって伝えたいことが違うと分かった。
- ・この学習を通して、新聞がただ事実を伝えているだけでなく、思いを込めて考えて作られているんだなと思いました。
- ・二つの新聞では同じ内容を話題にしているのに、書き手によって伝えたいことが違うし工夫の仕方も違うので興味を持ちました。
- ・書き手の意図によって新聞で分かることも変わる。見出しだけでも書き手の思いがよく分かった。授業前は興味のなかった新聞が、授業後にすごいものだと思いがわいた。
- ・この学習を通して、新聞で世の中のことがこんなに分かるんだなと思いました。おばあちゃんが新聞をとっているの、今度読ませてもらいます。
- ・新聞に興味を持ったので、子供新聞から読み始めてみようと思いました。
- ・「ジェンダー平等」という言葉は知っていたけれど、パラリンピックにも関係しているとは思わなかったので驚きました。
- ・画角について話したことで、記事を書いている人とカメラマンの人とのやり取りがどれくらいあるのか気になりました。

### パラ閉幕 共生の未来提示

#### 東京上回る「金」14個



【パリ共同】第17回夏季パラリンピック・パリ大会は8日（日本時間9日）、閉幕した。新型コロナウイルス禍の収束を受けて大会参りに観客が戻り、チケット販売は史上最高の250万枚に上ると、多様な価値観を認め合う「共生社会」を提示した。

日本は海外開催の大会では最多の175選手が参加し、金14、銀10、銅17の計41個のメダルを獲得。金メダル数は前回東京大会の13個を上回り、「京大大会」以来の10位と健闘した。

閉会式は8日夜（同9日未明）にパリ郊外サン・ドニのフランス競技場で、雨の中で行われ、日本は競泳男子で2冠に輝いた。

木村敬一（38）東京ガス 代

#### パリ・パラ日本のメダル数

金	14
銀	10
銅	17

パリ・パラリンピックの開会式に臨む日本選手団（8日、フランス競技場）（共同）

後で気になって産経新聞の記事も読んでみましたが、産経は「メダルの数」も「障害者の活躍」についても両方書いてありました。「読売」と「毎日」を、足して2でわったように感じておもしろかったです。

## 6、成果と課題

### 【成果】

- ・児童が新聞についての理解を深めたこと。
- ・新聞社によって内容や書き方が違い、その社(書き手)の思いが表れていることに気付けたこと。
- ・授業後に6社の新聞閲覧コーナーを設けたことで、以前より新聞や世の中のことに興味をもつようになったこと。
- ・新聞系の児童が係活動に生かそうとしていること。(今後は社会科の新聞作りにも生かしていきたい。)

### 【課題】

- ・その単元限りの学習で終わってしまった児童が多くいたこと。
- 新聞閲覧コーナーの工夫
- 日直によるスピーチに新聞の活用(「今日の一面!」「私のイチオシ!」など)
- 計画的な新聞教育の実践(年間指導計画への記入)

## 7、学年の先生から

### 【2組担任】

新聞に触れる機会が少ない児童でも、新紙幣やパラリンピックなど身近な話題の記事を教材としたことで、意欲的に取り組むことができました。また、同じ話題であっても書き手の意図によって内容に違いがあることに気付き、学習後に新聞閲覧コーナーの6社の記事を比較して読んでいる様子が見られました。

### 【3組担任】

それぞれの記事の違いや共通点を見付け、それを言語化していく中で情報を読み解くことの楽しさを感じている児童が見られました。学習後は、読んだ新聞記事やニュースの内容についての意見を担任に伝えに来る児童が増えました。社会について深く知ろうという児童の意欲を高めるきっかけとなった学習だと感じています。